

2 月 14 日に 72 回生の「中間発表①」を実施しました。各ゼミで PowerPoint やレポート、レジュメを用いた発表が行われました。聴衆には、同ゼミに所属する 71 回生にも加わっていただき、発表に対する質問や意見交換が活発に行われていました。各ゼミの様子を紹介します。

## ●国語ゼミ 発表時間:10分以内

- ・ゼミ内での初めての発表ということで、全員が緊張しているように見えた。
- ・他の班がどのような研究をするのか、興味を持って聞いていた。
- ・質疑の代わりに「アドバイスシート」を 71 回生に書いてもらい、各班に渡した。



## ●数学ゼミ 発表時間:7~10分 質疑時間:3~5分

71 回生を前にしての発表とあって、緊張感があつた。発表会は、71 回生や先生からの具体的な質問や意見に対してその場で考え、答えを出そうとすることで、自分達の研究の新しい視点を発見したり考えを深めたりする良い機会になった。さらに、「数学が無関係に見えるテーマでも、結論として数学的に関連付けるべきだ」という核心的な指摘も受け、学術的・数学的価値を見出すための 72 回生の心構えも変わった。

## ●英語ゼミ 発表時間:4~5分 質疑時間:5~6分

71 回生からも 72 回生からも、質疑時間が足りないほど多くの質問があつた。特に多かったのは研究の目的を問うもので、はっきり答えられた班は少なかった。そのため、「何を知りたいのか・したいのか」を明らかにし、それに基づいて内容を再検討する必要があると感じた。

さらに、知識不足も感じた。多くの 71 回生や先生方から「実現不可能だ」「無駄である」などの助言を頂いた。また、言葉の意味や範囲、判断基準の定義づけが不明確だという意見も多く聞かれた。助言によって、違った視点から問題を見つめ直すことができ、良い刺激になった。

先生方がおっしゃっていたように、まずは先行研究を見比べて、先輩の研究との重複の確認も含め、自分達の研究と照らし合わせて、研究・実験をより良いものにした。

## ●化学ゼミ 発表時間:6分以内

実験方法についての質問や提案、レポートの表記方法についての指摘などが交わされ、非常に良い発表会になった。また、71 回生からは自分達の体験を基にした実験方法についての助言もあり、より良い実験方法を考えるヒントになった。ゼミ担当の先生からの講評では、今後のテーマ設定のポイントについて教えて頂いた。今回の発表会でもらったアドバイスの数々を活用し、より良い実験と正確な結果が得られるように工夫していきたい。

## ●生物ゼミ 発表時間:5~10分 質疑時間:5~10分

71 回生の前で適度な緊張感を持って発表することができ、全体として熱心に発表を聞いていたため、とても良い雰囲気だった。発表時間は、超えてしまう班もあったが、短すぎる班は無く、十分に準備して臨んだことがうかがえた。中には、早くも予備実験を行い、その結果を示した班もあった。スライドを効果的に活用し、より分かりやすく伝えようとする姿勢が見られた。

それに対しての 71 回生の質疑も鋭いものだった。目的に対して、「科学的に捉えていない」「その方法では結果が得られないのでは？」といった声が挙げられ、有意義な時間となった。

先生からはこれからの時間の使い方についての助言を頂いた。野外調査や生物の育成・観察を控えている班も多いが、生物を扱う以上、一筋縄でいかないのは明らかである。時間を見つけ、コツコツ作業をしていくことが、納得のいく成果を出す鍵になる。

## ●物理ゼミ 発表時間:4~5分 質疑時間:9~10分

完成度に違いはあれ、皆、胸を張って発表していた。質疑応答では 72 回生も何人が質問していたが、先輩方の質問の質・量には劣っていた。特に先輩方は、序論・仮説段階で主観的になっていては考えつかない根本的な指摘を多くしてくださり、経験の差を感じた。今回の助言を基にして、より良い研究にしていきたい。

また、講評では「質問に対する答えが不正確な点」「1秒でもタイムオーバーしてはいけない点」「原稿を見てはいけない点」について注意された。このような言動についても、改善していかなければならないと思った。

## ●地学ゼミ 発表時間:5分以内 質疑時間:10分以内

皆、集中していて、質問も多く飛び交い、有意義な時間であった。実験を何に活かしたいのかという根本的な部分を全班しっかりと示した。先生から、見落としていた点を指摘して頂いたり、実験の内容や意義などについて助言して頂いたりした。まだ実験を行っていないためか、発表時間が比較的短く、未定の部分が多

かった。準備が万全にできていない班もあり、この発表で得た反省を活かしていきたい。71 回生にも沢山質問して頂いた。質問によって新しい実験のアイデアを得ることもできた。他の班の発表を見て、もっと自分達の班の研究を深いものになりたいと思った。

#### ●地歴ゼミ 発表時間:4~5分 質疑時間:5~6分

厳しい意見や質問を沢山もらい、発表の仕方や質問の応答を見直していくべきだと感じた。研究対象が曖昧である事や、テーマや仮説自体が妥当なのかという助言などから多くの課題が出てきたと思う。この数か月で調べてきたことと浮かび上がった様々な課題を活かして、優れた研究にしていきたい。

聞いている間は、皆、資料と発表に集中し、多くの疑問点を挙げて意見交換が行われていた。71 回生からの指摘にもあった通り、まだまだ準備不足を感じる部分を修正していくといいと、担当の先生から講評を頂いたので、全員がより熱意を込め、ゼミ全体として上の段階に進めるよう努力していきたい。

#### ●公民ゼミ 発表時間:7~10分 質疑時間:5~7分

全員が発表に集中し、発表者は周囲に伝えるという意識をもって発表できていた。71 回生には研究を深めるための助言、新しい視点の提示などをして頂いた。研究に対する知識・理解不足を痛感させられる班もあった。発表の意図が正確に相手に伝わらず、厳しく言及された班が多かった。全班が未熟な部分と良い部分を認識することができた。全班に改善の余地があり、次の中間発表に向けて改善できれば、より大きい学術的価値を見出せるはずだ。



#### ●保健ゼミ 発表時間:7~10分 質疑時間:3~5分

これまでの短い期間で、どの班もとても濃い内容を持ってきたので非常に濃い発表会となった。そして、質疑応答では71 回生からの質問・助言が多く、また、核心を突く厳しい質問にもしっかりと対応できていて良かった。設定した発表時間に満たないという反省の面もあるが、その分質疑時間に充てることができたので結果オーライであった。先生から「さすが71 回生!!72 回生は先輩から学ぶことが沢山ある。とても有意義な時間であった。」という講評を頂いた。先生の助言通りこの発表を糧にしてもっと深く内容の濃い研究をしていきたい。

#### ●家庭ゼミ 発表時間:7分以内 質疑時間:3分以内

初めての発表で72 回生は緊張していた。レジュメの作り方、発表の仕方がまだまだ甘かった。練習の少なさが表れてしまった。

また、専門用語を使ったが、聞いている人は理解していなかったように思えた。71 回生からは「震災の話を書くときは配慮が必要」「もう少し具体的な仮説を立てるべき」などの助言を頂いた。

#### ●情報ゼミ 発表時間:6~8分 質疑時間:3~5分

皆が自分達の研究に役立てようと、集中して聞いていた。また、スライドを用いた班もあり、各班がそれぞれの研究の特色を活かした発表を行っていた。質疑応答では、発表者の意表を突く質問がいくつか出た。71 回生からは「もの作りと研究の線引きをしっかりとる」「プログラミングを使う場合は早く始めるべきだ」などの助言を頂き、有意義な発表会となった。

#### ●音楽ゼミ 発表時間:7分以内 質疑時間:3分以内

全体的にテーマが漠然としており、何を研究したいのか自分でもよく理解していない班もあった。また、音楽用語など、自分が理解していてもそれを相手に説明することの難しさを感じた。

質疑応答では、71 回生から自分達の失敗したことも含めた経験談を交えた助言を頂いた。特に、研究対象についてどう絞っていくかもっと考えるべきだという意見が多く、研究の方法や流れについてはさらに具体的に細かく考えていく必要がある。72 回生同士での質疑応答はほとんど無かったので、次回からはお互い活発に発言し合えるようにしたい。

#### ●災害研究ゼミ 発表時間:5分以上 質疑時間:10分以上

各班、久しぶりの発表ということもあり、緊張していたように見えた。内容もまだまだ粗く、71 回生や先生からの質問により、各班改善すべき点を多く発見できたと思う。これを活かし、より良い実験を行っていきたい。また、日本語の使い方についても少し考えるべきだと思った。レポートやPowerPointなど作った本人は分かっている、聞いている人には分からないという場面があった。そのため、聞いている人への分かり易さをより意識し、内容を具体化し、図を用いた説明を行っていくべきだと思った。



#### 編集後記

中間発表①お疲れさまでした。ゼミごとになって初めての発表で緊張した人が多かったと思います。しかし、今回の発表会はあくまで中間点です。今回出てきた課題点等を各班でしっかりと見直して、より良い研究活動につなげていきましょう。